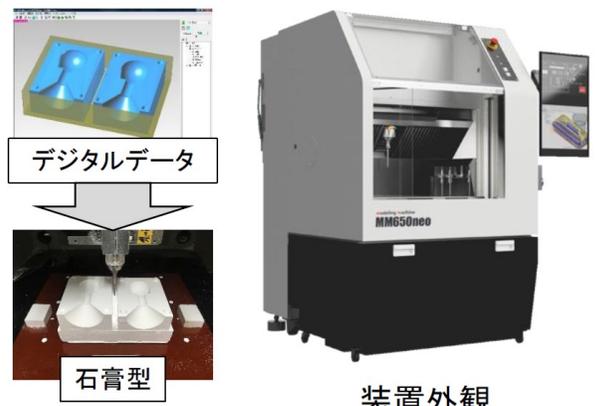


事業概要【北陸産業の新フロンティア開拓事業】

旧制度（推進）

申請者	石川県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,459,542千円 (396,054千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・北陸地域においては、今後も人口減少による就業者数の減少が見込まれており、魅力ある雇用の場の創出等を通じてその減少に歯止めをかけ、地域経済を活性化させていく</p> <p>・魅力ある雇用の場の創出のため、企業の生産性向上や新技術・新製品の開発への支援など、企業の競争力を強化する事業を北陸3県が連携して進めていく</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>①炭素繊維複合材料、バイオ医薬品・新医療材料、医療機器、宇宙産業など成長分野での産官学金の連携による研究開発、製品化の推進、人材育成の実施 (補助金) 150,428千円 (委託料) 6,736千円</p> <p>②デジタル技術などの先端技術を活用した研究開発、製品化の推進 (委託料) 1,410千円</p> <p>③北陸地域の高い技術を更に高めるためのイノベーションを促進し、付加価値の高いものづくりに向けた研究開発、製品化の推進 (補助金) 32,000千円 (委託料) 12,660千円</p> <p>④海外展開の市場調査等への出展支援、商談会の開催等への支援 (補助金) 34,133千円 (委託料) 23,086千円</p> <p>⑤イノベーションを推進するための人材確保に向けた取り組みへの支援 (補助金) 24,628千円 (委託料) 11,941千円</p> <p>⑥イノベーション推進に資する働き方・経営改革に向けた取り組み支援 (補助金) 3,250千円 (委託料) 2,538千円</p>	<p>3Dモデリングマシン ※③事業で整備</p>  <p>デジタルデータ</p> <p>石膏型</p> <p>装置外観</p>	
KPI	<p>①北陸三県における製造品出荷額（機械・金属類） (+11,750億円)</p> <p>②北陸三県における医薬品・医療機器生産額 (+1,790億円)</p> <p>③北陸三県の就職マッチング件数 (+218人)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証)</p> <p>https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/miraikaigi.html</p>

※石川県、富山県、福井県の広域連携事業

事業概要【インバウンド再開を見据えたいしかわの魅力発信プロジェクト】

申請者	石川県、金沢市				初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	550,262千円 (94,460千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年の大阪・関西万博も見据え、外国人旅行者の多様なニーズに対応した県内の観光素材の発掘・磨き上げ等で、年間を通じた誘客（時期の分散）、県内全域への波及（地域の分散）による誘客効果の最大化を実現し、地方都市の海外誘客におけるトップランナーを目指す。 外国人を含んだ観光客が増加することで、オーバーツーリズム（観光公害）が発生することがないように、マナー啓発やセミナー等の予防的対策を取り組み、観光客のみならず住民にとっても過ごしやすい観光地を目指す。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アジア市場へ向けた魅力発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国内外メディアやインフルエンサー、旅行会社の招へい・情報発信委託費 12,800千円 ・SNSを活用した通年での観光魅力発信委託費 9,100千円 ○欧米豪市場へ向けた魅力発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・欧州・米国観光レップやオセアニア観光特使を活用した現地PR・情報収集委託費 15,800千円 ・国内ランドオペレーター、海外旅行会社、メディアの招へい委託費 7,860千円 ○外国人旅行者の受入環境整備の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・オーバーツーリズムの予防的対策に向けた受入環境整備 11,500千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>大学と共同で県内外国人旅行者のデータ収集及び可視化に取り組み、旅行者の動態傾向を明確にすることで、事業内容への反映に取り組む。</p> <p>観光連盟や商工会議所、経済同友会と連携し、観光事業者や商店街のニーズを収集・共有することで事業内容への反映に取り組む など</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①現地イベントにおける参加者数 (+13,100人) ②SNSフォロワー数 (+42.5千人) ③オンライン商談会での成約件数 (+116件) ④大手オンラインショップ内の県産品紹介販売サイトでの売上額 (+7,526千円)
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【特色ある石川県産農林水産物のブランド化推進事業】

申請者	石川県				初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	855,528千円 (148,436千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<p>本県には、量は少ないものの特色ある農林水産物が数多くあり、これらのブランド化により、農林水産業の持続的な発展のみならず、石川県の魅力向上への昇華を経て、地域経済の活性化はもとより、石川県民の誇りの醸成にも寄与することを目指す。</p>					
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 当事業では、本県の優れた特長を有する農林水産物の更なるブランディングや首都圏や海外も含めた販路開拓、ブランド品目である「百万石の極み」パッケージでのPR、地産地消の推進に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いしかわ百万石食材ブランド化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・各品目パッケージ化によるプロモーション経費等 40,400千円 ○個別品目生産・販売対策費 <ul style="list-style-type: none"> ・各品目の生産者団体等への支援 80,036千円 ○首都圏における販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・「いしかわ百万石マルシェ」開催等 14,000千円 ○地産地消・地域活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・個別商談会の開催等 4,000千円 ○海外における販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・台湾の高級百貨店におけるフェアの開催等 10,000千円 				 <p>首都圏トップセールスの様子</p>  <p>百万石の極み</p>	
地域の多様な主体の参画	<p>各生産者・JA等と石川県・各市町が連携して、魅力発信、販路開拓等の取組を行い、大学の知見も活用しつつ、ブランド化の推進を図る。情報発信については、県HPやSNS、新聞等、広く活用し発信する。また、イベント参加者からの意見聴取など、広く意見を吸い上げ事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①ブランド品目の販売額 (+18億円) ②商談成立件数 (+457件) ③6次産業化総合化事業計画の認定数 (+18件) ④県産農林水産物の輸出額 (+2,000万円)

事業概要【大学発のスタートアップの発掘・育成事業】

申請者	石川県					初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	271,800千円 (66,600千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 技術優位性の高い大学発スタートアップを創出することで幅広い業種の産業を創出し、本県の産業構造の多重化・多軸化を図るとともに、スタートアップ創出による雇用増加や移住・定住を促進する。 地震被害のあった能登の復興に向けて新産業を呼び込むため、県外スタートアップの誘致・定着を狙う。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>①大学発スタートアップ発掘・育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元大学と連携した研究シーズの発掘、企業とのマッチングのためのプレゼン会の開催（補助金）15,000千円 <p>②スタートアップビジネスプランコンテストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県での起業希望者を県内外から募集し、認定された起業家を対象に創業準備資金の支援等を実施（補助金）23,000千円 <p>③いしかわアクセラレータープログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急成長が期待されるスタートアップに対して、経験豊富なベンチャーキャピタリストが伴走支援（補助金）10,000千円 <p>④スタートアップ支援拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の支援拠点に対する交流促進等の取組支援（委託料）9,600千円 <p>⑤能登への県外スタートアップの誘致調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能登の被災地ニーズと全国のスタートアップのマッチング、誘致調査（委託料）9,000千円 					 <p>※②スタートアップビジネスプランコンテストの様子</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>県による全体調整のもと、民間団体が民間企業からの意見を吸い上げ、大学、高専など学術機関がスタートアップ創出を促進、金融機関が有望スタートアップやスタートアップの種に対し資金提供することで、地域全体でスタートアップの創出・育成を図っていく。</p>					KPI	<p>①研究シーズと民間企業のマッチング件数（+42社）</p> <p>②研究シーズ発掘件数（+65件）</p> <p>③大学発ベンチャー設立数（+16社）</p> <p>④県内出身県内大学生の県内就職率（+12.2%）</p> <p>⑤県内に事業所を設けた県外スタートアップ社数（+2社）</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【コロナ禍を契機とした時流を捉えた新たな人の流れ創出プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	石川県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	329,224千円（122,174千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な暮らし方・働き方への志向の高まりを捉えた情報発信等により、更なる移住検討者の掘り起しを図る。 ・移住検討者を実際の移住に繋げるため、移住体験での地域住民等との交流機会の充実により、地域との関係性構築支援を図る。 ・観光誘客や若者の能登でのフィールドワーク促進等により、多様な人材が地域と関わるきっかけづくりを図る。 		
事業概要・ 主な経費	<p>○多様なニーズに即したきめ細やかな支援による人の流れ創出事業 ・イベント開催経費・WEB媒体等での広報費・現地体験等コーディネート費（補助金）41,043千円 ・現地体験等コーディネート費（補助金）18,465千円 ・移住相談窓口の運営（委託料）25,370千円</p> <p>○農業人材確保・定住促進事業 ・移住就農希望者を対象としたイベント開催経費・WEB媒体等での広報費（補助金）12,670千円（事務費）100千円 ・農業法人見学会・農業体験研修の実施（補助金）2,950千円</p> <p>○観光誘客、地域活動の支援等を通じた能登への関わり創出 ・能登の魅力を体験できる旅行商品造成支援等（補助金）21,576千円</p>		 <p>移住相談会の開催</p>  <p>移住体験(保育園見学)</p>  <p>全国イベントでの就農相談</p>  <p>能登の自然・魅力体験ツアー</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 本県への移住者数（+660人） ② いしかわ就職・定住総合サポートセンターを通じた移住者数（+72人） ③ 移住体験事業の参加者数（+140人） ④ ワークライフバランス表彰企業数（+27社） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ki-kaku/keikaku/miraikaigi.html</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【伴走支援体制の強化等による県内中小企業経営基盤強化事業】

旧制度（推進）

申請者	石川県	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	147,200千円 (57,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・DX・GX、原材料高騰、サプライチェーンの再構築等、企業の経営課題が高度化・複雑化している中、県内企業が経営課題を解決し生き残っていくために必要な支援機関の伴走支援の取組の強化を図る。 ・経営者の高齢化により廃業が増加している中、県内サプライチェーンや雇用の場の維持のため、事業承継の取組みの強化を図る。 ・県内産業を牽引するニッチトップ企業等の更なる成長促進や競争力強化を図る。 			
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業庁等との連携協定による伴走支援の強化 ・経営支援プラットフォームの活用による支援の高度化・業務効率化(補助金等)7,000千円 ・支援機関職員のさらなる資質の向上(補助金等)5,000千円 ○事業承継の推進に係る取組みの強化 ・啓発セミナー・個別相談会の開催(補助金)4,000千円 ・事業承継の専門家等の活用経費の助成(補助金)10,500千円 ・民間マッチングサイトを活用した第三者承継の推進(委託料)2,500千円 ○成長促進高度アドバイザーを活用した県内牽引企業の強化 ・成長促進高度アドバイザーの派遣(補助金)15,000千円 ○経営力強化総合支援アドバイザーを活用した伴走支援の強化 ・経営力強化総合支援アドバイザーの派遣(補助金)13,000千円 			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①商工会・商工会議所による伴走支援数 (+660件) ②事業承継普及啓発事業の開催件数 (+33回) ③事業承継引継ぎセンターへの相談件数 (+150件) ④知的財産の年間取得件数 (+81件) 		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kinyu/keieishien/bannsousien.html (効果検証) https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/miraikaigi.html	

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【創造的復興に向けて人の流れを創る能登の魅力発信事業】

申請者	石川県ほか9自治体※				初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,763,764千円 (726,132千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 能登半島地震からの早期復興を目指すため、国内外に継続的な支援を呼びかけるとともに、能登の主力産業の再建と次世代への継承に向けて、能登にかかわる関係人口を拡大し、新たな人の流れを創出する。 地震で得た教訓やノウハウを県民・国民全体で共有し、災害に強い持続可能な地域づくりに取り組む。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 災害関連資料を収集し情報発信に取り組むとともに、産学官を代表する組織と連携し、各種復興プロジェクトの進捗等について意見交換を行う。また、能登地域での就農に向けた研修や、スマート農業技術の活用のほか、県内外での県産農林水産物等の外販イベントや、レストランフェア、移住相談会等に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害関連資料の収集と情報発信 ・デジタルアーカイブの運用（委託料）120,000千円 ○産学官の連携による人の流れの創出 ・県内の企業や高等教育機関等が連携した会議の開催（委託料）1,500千円 ○農林水産業を担う人材確保 ・新規就農に必要な知識・技術の研修（補助金）26,000千円 ○生産性向上による農業の再建支援 ・スマート農業技術の実演会やセミナー（補助金）4,600千円 ○魅力ある能登の里山里海の発信と価値向上 ・県産農林水産物のフェア等の開催（委託料）34,100千円 ○スローツーリズムの推進 ・移住相談会への出展等（委託料等）2,300千円 ○商工業への支援と担い手育成 ・新たな取り組みへの支援（補助金）310,000千円 				 <p>能登の里山里海を代表する白米千枚田</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>県内の企業や高等教育機関等が連携して、復興の象徴となる各種プロジェクトの具体化に取り組む。</p> <p>県内各市町から、被害状況や災害の教訓、知見が記された資料等を収集するほか、農村コミュニティの再構築に向けた被災農家等からの情報収集、農業系高校の学生からの就農に関する取組への定期的な意見聴取など、広く意見を吸い上げ事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①人口の転入出数（+663人） ②新規漁業就業者数（+8人） ③農家民宿の新規開業者数（+15人） ④震災後に奥能登で酒の生産を再開した酒蔵（+7軒） ⑤新規就農者数（+31人）

※石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町の広域連携事業

事業概要【加賀料理の国無形文化財登録を契機とした地域活性化事業】

申請者	石川県、金沢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	828,000千円 (279,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・加賀料理の「わざ」を守る団体の設立や、料理人・若者向けの研修会等の実施により、技術継承を推進する。 ・加賀料理の歴史的背景・文化財的価値の一体的・効果的発信により、観光消費額の増加を図る。 ・他県との共同プロモーションの実施や、食・工芸の新たな価値創造支援により、海外需要の拡大につなげる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○次世代への技術継承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加賀料理の保持団体の設立・運営（補助金）10,500千円 ・若手料理人育成、料亭等への支援（補助金）13,500千円、（委託料）1,500千円 <p>○一体的・効果的な魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏・海外アンテナショップでの魅力発信（委託料）151,000千円 ・展示会、商談会等での魅力発信（補助金）10,600千円 ・国内外における「食」「工芸」の発信を通じた誘客強化（委託料）28,000千円 ・金沢市内の大学や民間事業者との連携による魅力発信（補助金）2,400千円、（委託料）22,100千円 <p>○「食」「伝統工芸品」事業者の企画力・情報発信力等強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品・伝統的工芸品の輸出強化（補助金）24,400千円、（委託料）9,500千円 ・食と工芸の新たな価値創造（委託料）5,500千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>加賀料理の次代を担う料理人等への技術継承及び魅力発信、並びに県産品の海外販路拡大を図るため、大学の専門的知見を活用し、県・市及び料理等の関係団体の連携を促進する。</p> <p>また、地元新聞社との協力により、各種事業の効果的な広報及び発信を行うとともに、イベント参加者等の意見を収集し、参加者の視点を踏まえた事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額（+393億円） ②観光入込客数（+246万人） ③外国人宿泊者数（+10.2万人） ④加賀料理技術保存会(仮称)の会員数（+60人） ⑤県内の輸出額（農林水産物・食品加工）（+23.97億円）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【能登半島地震からの段階的な観光再興に向けた県内全域での誘客促進】

申請者	石川県、金沢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,864,955千円 (604,985千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設の本格的な受入再開に時間を要する能登へのつなぎ支援と本格再開の際の能登誘客キャンペーンを推進していく ・金沢・加賀地域において、新幹線県内全線開業効果の維持・拡大に向けた取組と、開業後に変化した入込状況に対応した誘客促進策を講じる ・観光客の属性・行動履歴等の情報を収集・集積し、それらのデータを活用した戦略的誘客を推進していく 						
事業概要・ 主な経費	<p>○能登半島地震からの観光再興に向けた三大都市圏からの誘客促進 (主な経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災学習プログラムを活用した教育旅行誘致推進事業 15,000千円(補助金等) ・開業後に入込状況が変化した関西・中京圏からの誘客強化事業 15,000千円(補助金等) ・のと里山空港を活用した「今行ける能登」への誘客促進事業 60,000千円(補助金) ・誘客プロモーション事業 18,050千円(委託料等:金沢市) <p>○金沢港の賑わいづくりによる誘客促進 (主な経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船受入体制整備事業 59,106千円、58,106千円(補助金:県、金沢市) <p>○観光動態データに基づく効果的な情報発信 (主な経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティングを活用した誘客促進事業 80,000千円(委託料) ・観光公式HPやSNSによる観光情報発信強化事業 10,700千円(補助金) ・有力広報媒体活用キャンペーン事業 11,200千円(委託料:金沢市) 						
地域の多様な 主体の参画	<p>JRや大手旅行会社と共同で本県のPRを実施し、反響・結果を踏まえ、事業内容への反映に取り組む。</p> <p>年に1回行う推進委員会において、報告書の内容を踏まえ改善点を明確化し、参画者から助言をもらい、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI	<p>①観光消費額 (+393億円)</p> <p>②観光入込客数 (+246万人)</p> <p>③県観光公式HPへのアクセス数 (+3,821千件)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【金沢市SDGs未来都市計画推進事業】

申請者	石川県金沢市				初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	736,823千円 (143,420千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・工芸の成長産業化や企業支援、人材の多様性の推進など、創造性・革新性の向上を図る。 ・多様な人材が、ライフステージや能力に合わせて活躍できる社会風土を醸成する。 ・自然、歴史、文化の価値をさらに高め、心地よいまちづくりをすすめる。 ・SDGsツーリズムを推進し、「責任ある観光客」を世界中から呼び込む。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○工芸の継承・発展 <ul style="list-style-type: none"> ・工芸の「つなぎ手」人材の活用 (委託料) 3,000千円 ○金沢の歴史・文化への理解促進、多文化共生社会の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・アウトサイダーアートの魅力発信と障害等への理解の促進 (委託料、事務費) 2,000千円 ○食品ロスの削減、グリーンインフラの活用、低炭素社会の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・金沢にふさわしい次世代交通サービスの構築 (委託料) 10,100千円 ○金沢SDGsツーリズムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・金沢SDGsツーリズム推奨制度による推進事業者の認定事業推進等 (委託料、事務費) 25,500千円 				<p>経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たな産業の創出 ○工芸の継承・発展 <p>社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金沢の歴史・文化への理解の促進 ○多文化共生社会の実現 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減、グリーンインフラ活用、低炭素社会の実現 <p>「金沢SDGsツーリズム」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光と市民生活の調和 ●域内経済の循環の創出 	
地域の多様な 主体の参画	<p>市民をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・労働団体等で構成する推進委員会において、報告書の内容を踏まえ改善点を明確化し、各分野からの専門的観点及からの助言を得る。また、各団体の実情やニーズを共有することで、事業内容への見直し・反映に取り組む。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①IMAGINE KANAZAWA 2030パートナーズの登録件数(累計) (+300件) ②海外見本市出展等への支援件数(累計) (+20件) ③中心市街地の市文化施設の利用者数(年間) (+143,000人) ④ごみ排出量(年間) (▲11,761t)

事業概要【東京オリパラのレガシーと新市民サッカー場を活かしたポストコロナのまちづくり～スポーツで人とまちを元気に～】

申請者	石川県金沢市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	741,834千円 (139,445千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じて国際理解、多様性の理解の促進による共生社会の実現を図る。 ・文化スポーツイベント開催を通じて、市民の幸福で豊かな生活の実現を図る。 ・国内外からの誘客により観光産業の進行や関係人口の拡大を図る。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをととした国際交流を実施 (委託料) 300千円 ○共生社会推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催等によるパラスポーツの推進 (委託料) 3,300千円 (補助金) 1,300千円 ○スポーツ文化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・新サッカー場周辺活性化事業 (委託料) 17,700千円 ○交流人口拡大事業 <ul style="list-style-type: none"> ・文化スポーツイベント誘致促進事業 (委託料) 35,600千円 (補助金) 15,500千円 						
地域の多様な 主体の参画	市民をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・労働団体等で構成する推進委員会において、報告書の内容を踏まえ改善点を明確化し、各分野からの専門的観点及からの助言を得る。また、各団体の実情やニーズを共有することで、事業内容への見直し・反映に取り組む。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①年間宿泊数 (+128万人) ②市内における学会、大会等の開催数 (+350回) ③ふるさと納税寄附受付件数 (+6,000件) ④健康づくりに取り組む団体の応募数 (+28団体)

事業概要【歴史と伝統が育んだ文化を活用した次世代育成と関係人口拡大プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	石川県金沢市、白山市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	748,800千円 (126,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・文化に親しむ市民の裾野拡大、文化産業に従事する「担い手」や理解者である「支え手」の育成を図る。 ・文化の新しい楽しみ方や文化コンテンツ、付加価値を作り出す。 ・文化事業の総合マネジメント機能を設けることで、文化事業をビジネスとして確立する。 ・文化的土壌を生かして一過性の交流人口ではない、ともに地域を作り上げる関係人口の創出・拡大をめざす。 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文化芸術の「担い手」「支え手」育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化子ども塾の開催（委託費）11,500千円 ○コンテンツのブランディングの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルミュージアムの運用及びAR作品数の拡充（委託費）29,100千円 ○文化事業実施者への支援及びマネジメント事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「アーツカウンシル金沢」の運用（委託費）14,000千円 ○文化を活用した関係人口の拡大事業 <ul style="list-style-type: none"> ・創造都市の強みを生かしたアーティスト間の交流事業の実施（委託費）4,200千円 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①子ども芸術文化体験イベント参加者数（+1,000人） ②金沢クラフトインデックス新規登録件数（+57件） ③伝統芸能伝習者の認定件数（+25人） ④金沢市のふるさと納税寄附受入件数（+26,724件） 	<p>関連URL</p>	<p>（実施体制）</p> <p>https://www4.city.kanazawa.lg.jp/material/files/group/2/dai3jisougousenryaku.pdf （交付金の具体的用途）</p> <p>https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikaras/agasu/kikakuchoseika/gyomuannai/6/3/9395.html</p>

事業概要【多様な人々との協働による地域力再生プロジェクト】

申請者	石川県金沢市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	443,910千円 (147,670千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティを醸成する ・学都の強みを生かして次代の担い手を育成する ・人と活力の還流により地域の再生を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・共創プラットフォームの活用推進事業 (委託料、事務費) 3,820千円 2. 学都の強みを生かした次代の担い手育成 <ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある若い住民等で構成する「未来へつなぐ金沢行動会議」によるまちづくり施策の実践 (委託料、事務費) 4,000千円 3. 人と活力の還流による地域の再生 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の市内定着を図るため、市内の社会人と学生の交流会を開催 (委託料、事務費) 35,900千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①地域の人口 (+3,600人) ②多様な人々の交流・活躍により、地域が元気になっていると感じる市民の割合 (+6.40%) ③新規大学卒業者の県内就職内定 (+1.5%) ④町会加入世帯数(+906世帯) 		関連URL (実施体制) https://www4.city.kanazawa.lg.jp/material/files/group/2/dai3jisougousenryaku.pdf (交付金の具体的用途) https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kikakuchoseika/gyomuannai/6/3/9395.html

事業概要【金沢商店街活性化プロジェクト】

申請者	石川県金沢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	303,110千円 (98,370千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑化、多機能化する商店街の課題に対応するための商店街サポートサロンを開設するほか、デジタル化推進や将来ビジョンの策定など社会の変化に対応した各種支援を実施することにより、商店街の機能強化を図る。 ・商業地間の回遊性向上や金沢駅から中心市街地への集客促進策などの商業エリアを超えた来街者の利便性向上を図り、賑わいを創出する。 						
事業概要・ 主な経費	<p>○快適で活力ある環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポートサロン開設・運営 商店街相談対応、空き店舗情報など課題解決への体制構築（委託料）18,300千円 ・中心商店街の活性化に関する支援（補助金）14,000千円 ・商店街のPRなど活性化やDX推進に対する支援（補助金34,000千円、委託料2,000千円） ・中心商店街新たな将来像の策定（委託料5,000千円） <p>○来街者の利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の賑わい創出とインバウンドや首都圏等からの来街者に対する中心市街地への誘導（委託料12,070千円） ・学生と連携したまちなかへの集客促進（委託料3,000千円） 						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>市民をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・労働団体等で構成する推進委員会において、報告書の内容を踏まえ改善点を明確化し、各分野からの専門的観点及からの助言を得る。また、各団体の実情やニーズを共有することで、事業内容への見直し・反映に取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①中心商店街エリアの来街者数（+3千人） ②空き店舗への出店支援制度の補助件数（+9件） ③商店街活動伴走支援（+9件） ④主要商店街等の売上高DI調査（+2.0ポイント）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【森と市民をつなぐ拠点施設整備事業】

申請者	石川県金沢市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	759,200千円 (276,100千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<p>地域資源である金沢市営造林を活用した主伐・再造林の推進による雇用の創出及び所得の向上と森林の適切な管理による公益的機能の向上を担う人材の確保・育成のほか、木育の推進や木材の利用を通じた木の付加価値化等を目的として、森林に関わるすべての人々が情報を共有し、交流する拠点施設の整備を行う。</p> <p>また、施設において地域住民等の生活利便性向上や地域と連携したコミュニティの活性化を図ることで関係人口や定住人口の増加による地域の活力の向上を目指す。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【拠点整備事業経費】</p> <p>拠点施設の整備により、林業関係者間の情報共有をはじめ、地域住民や学生など多様な人材による協働・共創のための「場」を提供するとともに、木や森に関わる様々な「人」や「モノ」、「情報」の施設への集積を有効に活用することで、木材の新たな需要喚起や消費拡大、金沢の木を多用した暮らしや子育ての実践、木を通じた金沢への愛着の醸成等を図る。</p> <p>○森と市民をつなぐ拠点施設整備 建築工事等一式 276,100千円</p>				<p>1階平面図</p> <p>2階平面図</p> <p>3階平面図</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>金沢森林組合、石川県においてデジタル技術やICTを活用するための研修などの多様な森林・林業の担い手育成を行う。</p> <p>また、市民をはじめ、産業界・教育機関等で構成する金沢市森づくり市民会議などの場において、有識者による事業の進捗報告と意見聴取を行う。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①金沢産材の供給量 (+6,721m³)</p> <p>②施設利用に基づく、林業に係る新規の起業者や従事者の数 (+11者)</p> <p>③金沢林業大学の累積修了生 (+39名)</p>

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【こどもを中心とした情操教育拠点施設整備事業】

申請者	石川県金沢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	97,300千円 (63,100千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・こどものあそびや学びを支える情操教育の拠点施設を整備し、主体的で創造性豊かなひとを育てる。 ・幼児教育や情操教育の「おもしろさ」を発信し、若い世代や子育て世代に選ばれるまちづくりを推進。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【拠点整備事業経費】 過疎化が進む地域で将来的に閉所となる予定の市立保育所を活用して、不要な間仕切りを撤去することなどし、広々と様々な創作活動・表現活動が行える施設に整備する。</p> <p>○情操教育の拠点施設整備 建築工事等一式 63,100千円</p>					 <p>令和6年度 高松芸術士による 研修会の様子</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>市民をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・労働団体等で構成する推進委員会において、報告書の内容を踏まえ改善点を明確化し、各分野からの専門的観点及からの助言を得る。また、各団体の実情やニーズを共有することで、事業内容への見直し・反映に取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 県外からの移住者数 (+150人) ② 当該施設の利用実績がある施設数 (+35施設) ③ 年間団体予約件数 (+66件) ④ 日曜の親子利用者数 (+1,500人) ⑤ 幼児教育公開講座への参加者数 (+150人)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【広域連携による持続可能なまちづくり計画】

旧制度（推進）

申請者	石川県七尾市ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	767,908千円（124,596千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	3市町が連携し、交流人口の拡大や移住定住の促進、起業・創業支援、企業誘致等の取組をより効果的に実施していくことで、「二地域居住」や「ワーケーション」等を積極的に推進し、「能登」における新しい人の流れをつくり、将来的な移住者数の増加や新たなビジネスの創出、企業誘致等につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>○能登地域移住交流協議会が事業主体となって、ワーケーションや移住の推進、関係人口拡大のイベント等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション等推進事業（補助金）8,300千円 ・移住プランナー事業（補助金）3,700千円 ・移住イベント開催、情報発信（補助金）3,900千円 <p>○地域産業の活性化やしごとづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継や起業等への支援（補助金）12,550千円 ・中山間地域の持続可能な拠点づくり（委託料）5,000千円 ・繊維振興人材の育成（補助金）2,250千円 </div> <div style="flex: 1;">  <p>保育園留学事業</p> <p>西北台保育所 (一時預かり保育施設)</p> <p>インテーク運営支援</p> <p>保育園留学</p> <p>能登千里浜レストハウス (多世代交流施設)</p> <p>民泊 (子育て支援)</p> <p>移住者交流</p> </div> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①本事業を通じた県外からの移住者数（+604人）</p> <p>②本事業を通じて当該3市町と関わりを持った人数（+4,000人）</p> <p>③広域体験プログラムの参加者満足度数（+80%）</p> <p>④移住プランナー数（+10人）</p>		
		関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証)</p> <p>【七尾市】https://www.city.nanao.lg.jp/kikaku-s/shise/sesaku/sogosenryaku/sougosenryaku.html</p> <p>【羽咋市】https://www.city.hakui.lg.jp/soshiki/soumubu/machizukuri/1/1/index.html</p> <p>【中能登町】https://www.town.nakanoto.ishikawa.jp/soshiki/kikaku/3/5/gyousei/9328.html</p>

<p>申請者</p>	<p>石川県小松市</p>	<p>初回採択回</p>	<p>令和6年度第1回募集</p>
<p>事業計画期間</p>	<p>R6-R10年度</p>	<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)</p>	<p>498,700千円（84,100千円）</p>
<p>事業タイプ・類型</p>	<p>地方創生推進タイプ・Society5.0型</p>	<p>事業分野</p>	<p>まちづくり分野</p>
<p>目的・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅と空港の一体的利用を促し「レール&フライト」を拡大：北陸の広域移動の拠点都市へ ・駅・空港間の人の流れ創出・拡大により、新幹線と国際空港とが織りなす全国随一の交流エリアを形成 ・持続可能な未来型の公共交通へ転換。安全・安心・安定の公共交通として社会受容性も醸成 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>○自動運転技術の導入、実証実験、その他車両運用に関連して必要となる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術導入・実証実験費用（委託料）66,000千円 ・運用・維持管理費（システム使用料・電気料）12,580千円 <p>○路線運行を通じた評価検証・改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線運行を通じた評価検証・改善費（委託料）4,900千円 <p>○社会受容性の醸成に必要な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業紹介用パンフレット、情報発信、イベント開催（試乗会、小中学生を対象とした説明会）（委託料、消耗品）600千円 </div> <div style="flex: 2;"> <p>The diagram illustrates the project's goal of creating a nationwide exchange area by connecting Komatsu Airport and JR Komatsu Station via autonomous buses. It highlights the expansion of 'Rail & Flight' services to the Hokuriku region, the use of high-precision 3D maps for safe and secure autonomous bus operations, and the resulting social acceptance through shared spaces with autonomous vehicles. The project also aims to create a sustainable future public transport system, leading to increased regional connectivity and economic growth in sectors like tourism, food, and accommodation.</p> </div> </div>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域の人口（▲615人）</p> <p>②空港連絡バス利用率（+2.6%）</p> <p>③小松駅周辺滞在者数（+23万人）</p> <p>④自動運転バス利用者満足度（+0.7ポイント）</p>		
	<p>関連URL</p>	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/1985/rosenbasu/4/index.html</p> <p>（効果検証）</p> <p>https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/1985/rosenbasu/4/17124.html</p>	

事業概要【「もっと深く、おもしろく。」新交流ビジョンプロジェクトこまつ2025】

申請者	石川県小松市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,438,084千円 (120,533千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 本市の歌舞伎芸能の拠点である日本初の歌舞伎役者の名跡を冠した「石川県小松市團十郎芸術劇場うらら」を国内外訪問者の窓口として、コンテンツの充実および拠点化を図るとともに市内各施設の連関を深化。 本市の観光・文化の魅力を広く世界に発信し、国内外からの交流人口拡大につなげ、観光産業を開花させ、若者や女性のしごとの創生や伝統産業の継承を図ることで、「楽しい国 日本」づくりをリード。 					
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 小松市の文化・産業・観光の課題解決（保存継承や活用）に向けた構想・調査を実施。また、観光客をはじめとする地域の足としての公共交通（自転車を含む）の最適化、利便性向上に向けた検証、改善を実施。 合わせて国内外の知名度向上、収益向上を図るPR等を展開 拠点整備事業としては、團十郎芸術劇場うららのグレードアップ（実施設計）に着手</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化コンテンツ充実事業 ・産業観光体制整備(補助金) 6,000千円 ・九谷焼特別展開催(補助金) 1,000千円 ・那谷寺活用基礎調査・分析等(委託料) 5,000千円 ・曳山継承の在り方基本構想等(委託料) 7,266千円 ○新しい交通機能による送客充実事業 ・自治体ライドシェアプロジェクトマネジメント等(委託料) 31,867千円 ○小松文化発信事業 ・大阪・関西万博 ローカルジャパン展等出展(委託料) 5,570千円 ・パンフレット、雑誌Webメディア掲載(委託料) 3,450千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○石川県小松市團十郎芸術劇場うららの魅力向上整備 ・実施設計 48,680千円 など 				 <p>那谷寺</p>  <p>歌舞伎十八番の内「勸進帳」 (子供歌舞伎)</p>	
地域の多様な主体の参画	<p>DMO、TMOとは需要、傾向などの情報収集、関係者と観光戦略との調整、小松駅及びその周辺のまちづくりの調整役となり、誘客促進や販路開拓を推進するため、観光物産事業者との連携を促進する。</p> <p>うららの指定管理者に歌舞伎公演を必須とし集客、収益が見込める公園の提案、開催をしてもらい、利用者の増加等につなげるとともに、大学や町内会から意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①加賀地域観光消費額（+21,380百万円） ②小松駅と小松空港の年間利用者数（+172.9万人） ③團十郎芸術劇場大ホール入館者数（+27,400人） ④ふるさと納税額（観光・九谷）（+11,000万円）

事業概要【若い世代の人流創生プロジェクトこまつ2025】

申請者	石川県小松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	297,702千円 (91,587千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>「若い世代の流れを変える好循環のまちづくり」が本市の地方創生のメインテーマであり、本市の今後の発展における最大のミッション。仕事の創生により若者や女性の働き口を生み出し、就労人口の増加につなげる。また全国でも稀な近接した国際空港と新幹線駅という2大都市機能を活かし、周辺の活動人口増加させまちに魅力と賑わいを生み出すことで、人口の定着をはかる。</p>						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 小松駅に隣接する民間複合ビル竣工に合わせた政策による、駅周辺の賑わい創出を開始。移住の受け皿としての公有財産活用にも着手。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小松駅周辺の賑わい創出（若者・女性） <ul style="list-style-type: none"> ・公立小松大学キャンパス拡張への支援 51,190千円 ・市で企業誘致を行うオフィスフロア整備 15,000千円 ○中小企業・福祉事業所高度化支援と柔軟な働き方の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル・グローバル化等経営モデル変更支援 16,500千円 ・育児・介護休暇取得推進事業者等への支援 550千円 ○スタートアップへの支援 2,450千円 ○移住・定住の促進にかかるPR <ul style="list-style-type: none"> ・市長と移住者の共演コンテンツ等でのPR 1,897千円 						
地域の多様な主体の参画	<p>商工会議所と連携し、スタートアップラボの実施、その他交付金事業外での創業支援の実施する。</p> <p>メディアとは各種PRコンテンツの露出を進めるとともに、移住してこられた方と、移住促進にかかるPR活動の実施することで当事者目線でのリアルな意見をPR内容等に反映する。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①若者・子育て世代の転入超過（+111人） ②小松駅周辺の活動人口（+3,000人） ③経営モデル変更の支援数（+9件） ④スタートアップラボにおける累計受講者数（+60人）

事業概要【農業の持続的発展プロジェクトこまつ2025】

申請者	石川県小松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	79,270千円 (25,270千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 農業の魅力浸透や地元農産物のブランド化・認知度向上、またデジタル技術の実装などにより若者や女性も活躍できる環境を整え、市内・地域外からも農業の担い手を確保し、年々減少している農業従事者数を維持する。 大規模化やスマート農業をによる生産性の向上、PR等による販路拡大や高付加価値化を支援し、持続的な農業経営と農業所得の安定・向上を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 農産物や農業そのものの魅力を市内外に広く発信し、販路拡大と収益向上に努める。 高齢化が振興する農業に対し、若返りを図るため、デジタル化や新しいチャレンジへの支援を行い、新規就農者の増加を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規就農支援研修生への支援 600千円 ○生産性向上、リスクヘッジなどの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市商品開発やデジタル化等の推進 8,000千円 ○農産物の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での特産品販売と生産者によるPR 500千円 ・大学と連携した農産物食育プログラムの実施 495千円 ・市民参加型収穫祭の実施 500千円 ○地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値農作物の学校給食への提供支援 4,600千円 ○認知度の向上とマーケティング強化 9,025千円 など 						
地域の多様な 主体の参画	<p>小松市農業協同組合とは、市と連携した新規就農研修生支援や、イベントの開催などを実施。合同で開催する調整会議において事業の報告や検証を行い改善点を確認し、事業に反映。</p> <p>地元大学とは、食育プログラムの実施、イベント参加によるPR活動を実施。学生による地元農産物を活用するレシピ開発やイベントでのPR活動等に取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①農業産出額 (+6億円) ②新規就農者数 (+22人) ③農産物を返礼品としたふるさと納税の寄附額 (+135百万円)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【Divercity×Artで持続可能なまちづくり】

旧制度（推進）

申請者	石川県珠洲市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	107,134千円（34,800千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・震災を免れた「Art」作品も含め、多様な地域資源を活用し交流人口・関係人口の継続的な拡大を図る ・多様な地域資源に関する市民の理解を深めるとともに、地域の人材が活躍し関係人口・定住人口を創出する ・次世代リーダーの育成を通じ交流人口・関係人口の拡大を図るとともに創造的復興につなげる 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校における生き物観察会・SDGs学習 ・生きもの観察会（委託料）1,000千円 ・SDGs学習（負担金）6,000千円 ○移住相談窓口運営事業 ・移住相談窓口の運営（負担金）3,000千円 ○震災後における芸術祭関連事業の交流・関係人口の拡大事業 ・能登半島地震後の芸術祭作品等のインパクトを発信（負担金）4,800千円 ○大学連携による創造的復興に向けた次世代リーダー育成事業 ・能登里山里海SDGsマイスタープログラムの運営（負担金）20,000千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①震災後の芸術祭関連ツアー受入数（+2,500人） ②能登里山里海SDGsマイスター育成プログラム受講者数（+48人） ③小学校における生き物観察会・SDGs学習受講数（+350人） ④移住相談窓口におけるインターンシップ・ワークショップ等受入数（+30人） 	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.city.suzu.lg.jp/life/3/27/146/

事業概要【マイナンバーを軸とした加賀市版電子自治体推進事業】

旧制度（推進）

申請者	石川県加賀市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	432,000千円（90,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード及びマイナンバーを軸としたデータ連携により、豊かで最適化された地方創生モデル都市の構築を図る。 ・異なる医療機関において蓄積される情報を横断的に閲覧可能とすることで、最適なプッシュ型支援を行え、「100歳まで元気に暮らせるまち」の実現と医療費や介護費の削減を図る。 ・マイナンバーカードによる公的個人認証とマイナンバーと紐づいた分野IDをデータ連携することで、ワンストップによるサービス提供を図る。 		
事業概要・ 主な経費	<p>○市内医療機関と情報銀行を連携し、市内医療機関と接続</p> <p>▶情報銀行連携医療機関拡大事業委託料：22,000千円</p> <p>○モビリティデータ連携拡充及びEBPMによるモビリティの導入等改善</p> <p>▶モビリティ連携等拡充事業：14,000千円</p> <p>○マイナンバーカードを活用したデジタルサービスの恩恵を受けられる社会に向けて、スマホ教室等を開催</p> <p>▶スマホ活用教育事業費：4,000千円</p> <p>○マイナンバーカードと顔認証による利用登録サービスを提供</p> <p>▶加賀市イノベーションセンターのマイナカード顔認証登録サービス事業：10,000千円</p> <p>○山代温泉地区等において、Wi-Fi Halowの整備を実施</p> <p>▶山代温泉地区等Wi-Fi Halow環境整備事業：40,000千円</p>		
※経費内訳はR7年度事業費	 <p>医療版 情報銀行</p> <p>事前に患者の同意を得て 個人の健康医療の記録を 情報銀行に提供</p> <p>目指す姿 健康寿命の 延伸</p> <p>加賀市内の [フレイル予防] [ロコモ対策]に 関連する内科及び 整形外科を有する 医療機関が対象</p> <p>情報銀行に蓄積された情報により 市民の健康増進の開発・研究に利活用する</p>		
KPI	<p>①市民の情報銀行のアカウント開設人数（+600人）</p> <p>②AIオンデマンド交通の利用者数（+1930人）</p> <p>③AIスクリーニングシステムによる子どもへの支援件数（+115件）</p> <p>④Wi-Fi Halowを活用したサービス導入数（+4件）</p>		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	https://www.city.kaga.ishikawa.jp/soshiki/seisaku_senryaku/seisaku_suishin/8/1596.html	

事業概要【子どもを対象とした将来への人材育成事業】

旧制度（推進）

申請者	石川県加賀市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	116,390千円 (52,010千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・先端技術を扱える人材の育成による、産業の多様化と成長の促進。 ・雇用を創出し、魅力ある高度な人材を加賀市に集積し、その人材が人材を呼び込むエコシステムの構築。 ・雇用の創出と多様な人材育成メニューによる子育て世代の流入。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○STEAM部活 (※学校教育における部活動の位置づけのものではない) デジタル系の部活動を発足し、地域で運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催事業費(委託料) : 8,210千円 <p>○国際・ロボット・プログラミング・コンテスト 子どもを対象としたAIやロボットに関連するプログラミング競技や作品制作を行うコンテストを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催事業費(委託料) : 40,000千円 <p>○デジタル活用スキルアップ事業 プログラミング教材のマイクロビットを使用し、外部講師を招聘した上で高度なプログラミング教室を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催事業費(委託料等) : 3,800千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数 (+120人) ②STEAM部の年間入部者数 (+155人) ③国際・ロボット・プログラミング・コンテスト参加者数 (+1,650人) ④KAGAものづくりラボ年間利用者数 (+3,300人) 	関連URL	https://www.city.kaga.ishikawa.jp/soshiki/seisaku_senryaku/seisaku_suishin/8/1596.html

事業概要【イノベーションセンターを中心とした先端企業や人材の交流と地域内新産業の創出事業】 旧制度（推進）

申請者	石川県加賀市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	61,430千円 (20,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップへの貸しオフィスであるインキュベーションルームや、先端機器を揃えたものづくりルームを備えた人材育成の拠点である「加賀市イノベーションセンター」を整備し、人材育成と交流の加速を図る。 上記を中心として、世代や業種を超えた人材交流や、そこから生まれるアイデアをベースとした新産業や新サービスの創出を促すことを目指した取組を実施するもの。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○デジタルファブ리케이션ハブ開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 先端技術に関する知識や技術の向上とコミュニケーションの場の形成を図るため、市民や市内企業および団体が利用できるデジタルファブ리케이션ハブを開催する。 ▶ 新産業の創出や先端技術人材の育成を目的に、企業と学生、企業と企業の連携を目的に、課題解決のハッカソンをはじめ、様々な交流イベントを開催する。 ▶ 企業と学校の連携機会のコーディネートを行う。 ▶ 市内外の技術者やデザイナー等との連携も行うことで、広い視点を持つ人材の育成を進める。 <p>・開催費用：9,500千円（委託費）</p> <p>○コミュニティマネジャーによる連携支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 先端技術を活用するインキュベーションルーム入居者のメンタリングを行い、それぞれが持つ特性を理解し、相互にとって有益な連携を促すことを目的としたマッチングを行う。 ▶ イノベーションセンター内でのコミュニティ形成を目的とした勉強会やセミナー等のイベントを開催する。 ▶ 入居者と市内企業の交流やマッチングを目的としたイベントを開催し、先端技術と既存産業の掛け合わせによるイノベーション創出を促進する。 <p>・連携支援費用：11,000千円（委託費）</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域へのUIターン数（+120世帯） ②デジタルファブ리케이션ハブ年間利用者数（+3,300人） ③イノベーションセンターから生まれた新商品および新サービス数（+9件）	関連URL	<p>https://www.city.kaga.ishikawa.jp/soshiki/seisaku_senryaku/seisaku_suishin/8/1596.html</p>

事業概要【ライフデザイン推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	石川県加賀市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	53,790千円 (18,470千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	人口減少と少子高齢化にともなう、年少人口、生産年齢人口の減少は、地域経済の縮小、地域活力の減少につながっており、これに歯止めをかけるべく、加賀市において結婚から出産、育児まで希望を持つことができるような施策に取り組むことで、出生数や転入者の増加につなげ、若年層が暮らし、子どもを産み育てられるまちを目指す。		
事業概要・ 主な経費	<p>○官民が連携して、結婚から出産、育児まで広い範囲で効果的な施策の実施に向けた協議し、若年層や事業者を対象とした講演会やセミナーを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体設立運営費 500千円 ・若年層対象講演会・セミナー開催費 1,500千円 ・事業者対象講演会・セミナー開催費 1,500千円 ・専門家派遣費 1,500千円 <p>○加賀市の取組や「子育てに手厚い市」の積極的な情報発信や転入検討者対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体および市内向け情報発信費 6,270千円 ・市外の若年層向け情報発信費 7,200千円 		
KPI	<p>①地域へのUIJ ターン数 (+45人)</p> <p>②若年層(20～39歳)の転出者の減少数 (▲35人)</p> <p>③事業者・団体向け講演会・セミナー参加者数 (+60人)</p> <p>④「子育てに手厚いと思う自治体」の回答割合 (+4.5%)</p>		<p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>関連URL https://www.city.kaga.ishikawa.jp/soshiki/seisaku_senryaku/seisaku_suishin/8/1596.html</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【外部人材の活力と地域資源との融合による地域産業の活性化事業】

申請者	石川県加賀市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	294,659千円 (101,159千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 創造性豊かな感性を持つ人材が市内産業と交流することで新たな価値を持った製品・サービスの創造を目指す。 市内産業の労働生産力の向上や、新たな創業や雇用が生まれるように産業人材の育成を図り、市内産業（商工農業）の産業競争力向上とローカルイノベーションを進める。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○「THU×KAGA～クリエイターハブのまち推進」に係る事業経費 クリエイターが自然に集まる「クリエイターハブ」の礎を創るため、市内産業とクリエイター交流による新たな製品製造等を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・THU開催事業（委託料・補助金） 15,000千円 ・海外展示会等出展支援事業（補助金） 1,000千円 ・山中漆器振興推進事業（補助金） 5,659千円 <p>○「商工農業人材育成創業支援」に係る事業経費 市内産業の基盤強化のため、企業のDX活用を図る人材育成、民間事業者の知見を活かす創業支援、就農環境の改善を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX人材リスキリング促進事業（委託料・補助金） 30,000千円 ・創業希望者相談支援情報発信事業（補助金） 10,000千円 ・商業地域活性化事業（補助金） 25,000千円 ・採用活動支援事業（補助金） 2,000千円 ・新規就農者向けオールインワン研修農場整備（補助金） 12,500千円 				<p>クリエイターハブを目指す</p>  <p>国際的なクリエイティブ団体（THU）との連携・交流↓</p>  <p>←あらゆるアートワーク、映画、脚本、プロジェクト…には良い話の裏付けがある</p>	
※経費内訳はR7年度事業費					<p>市内産業の基盤強化の取り組み</p>  <p>↑リスキリングへの市内各種団体連携</p>  <p>わたしたちは、石川県加賀市を若者が日本一創業しやすいまちにするために有志が集まったチームです。</p> <p>↑創業支援の民間団体との連携</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会議所、商工会、観光協会、包括連携大学、各金融機関のほか、創業支援等を行う民間団体等とも連携する。</p> <p>市内産業の新たな価値化を目指すあらゆる取り組みに対して、公共性の高い各団体が得意とする分野における支援を図りながら、民間の創業経験者等の知見も活用した柔軟な体制を進める。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の就労者数の増分 (+15人) ②空き店舗の減少数 (+18件) ③新規就農者数 (+12人) ④各事業による加賀市への来訪者数 (+1,200人)
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【教育改革を核とした新たな移住定住促進事業】

申請者	石川県加賀市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	27,003千円 (8,503千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	移住希望者のサポート体制を強化し、教育改革を行っている加賀市の魅力を発信することで、より多くの人々に加賀市に移住してもらい、持続可能な地域社会を築くことを目的としている。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 子どもたちが主体的に学び成長できる環境を目指し、STEAM教育の推進や地域との連携による体験学習の充実を図ることで、従来の画一的な教育から脱却し、一人ひとりの個性や才能を伸ばす教育を実践する事業を展開する。このような教育改革に共感し、移住を検討する人々が増えることで、多様な働き方や生き方を応援する社会の実現を目指し、持続可能な地域社会の構築へと繋がりたいと考えている。</p> <p>【ソフト事業経費】 教育改革を核とした新たな移住定住促進事業 ・地域共創プロジェクト推進費（委託料）8,503千円</p>					 <p>The diagram illustrates the project's flow. On the left, 'Education Reform' is shown with a teacher pointing at a presentation board in a classroom. On the right, 'Relocation Support' is shown with a family (mother, father, and child) sitting at a table. A large blue arrow points from the education reform section down to a red banner that says 'ようこそ!' (Welcome!). Below the banner, a family is shown celebrating in front of a house with a red roof.</p>	
地域の多様な 主体の参画	市の魅力を広く発信し、移住を検討している人たちに情報を提供するなど、市の魅力や移住に関する情報を積極的に発信し、移住を検討する人々を誘致する。視察を積極的に受け入れ、加賀市の教育改革を全国に発信する。移住希望者が教育体験プログラムを実施できるように市内小中学校と連携する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住相談件数のうち加賀市の教育に興味をもって移住をした世帯員数（+47世帯） ②空き家を活用した無料お試し居住体験の家を利用した人数（+1,029人） ③移住スカウトサービスを通して移住相談があった件数（+342件）

事業概要【実証・研究フィールドを核とした先端技術と地域内産業の融合による新産業創出事業】

申請者	石川県加賀市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	216,500千円 (69,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	加賀市内に先端技術を有する産業の階層構造の最上位に位置する企業を生み出す、または誘致することで、地域内産業の付加価値を高め、地域の魅力ある雇用創出等を図る。そして人口の定着や流入に繋げ、活力ある地域への再生を目指す。						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>■実証実験サポート事業</p> <p>先端技術を用いて地域課題解決や、新たな産業創出に繋がる取組をサポートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証資金支援：実証実験やそれに付随する各種調査に係る費用支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金（上限5,000千円×4件） ・委託品（上限5,000千円×4件） ・各種調整サポート：実証実験に係る各種機関や団体、地域住民等必要な調整を行う。 <p>■既存産業とのマッチング事業</p> <p>先端技術と地域内既存産業とのマッチングを促し、新産業やサービスの創出を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先端技術を有する企業（技術者）による勉強会や講習会を開催（開催委託費15,000千円） ・実証サポート事業での取組の、地域既存産業界向け報告会の実施 ・地域内産業と地域外の企業との意見交換会の実施 <p>■実験・開発フィールド整備事業 ※交付事業における施設整備・事業設備・備品経費</p> <p>市内の廃校施設の環境整備を行い、企業が研究・開発を行えるような設備を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源設備強化：500千円 ・WiFi設備増強：1,000千円 ・空調設備整備：6,000千円（3,000千円/室×2室） ・消防設備改修：7,000千円 					<p>加賀市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験サポート ・企業マッチング ・施設整備 <p>実験・研究フィールド (廃校施設)</p> <p>先端技術企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験 ・研究開発 <p>技術ニーズ</p> <p>技術力</p> <p>市内既存産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験 ・共同研究 <p>新産業、サービスの創出による地域の活性化</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会議所（産）は、市内の既存産業との連携や企業マッチングを通じた対象企業の紹介に加え、事業報告会への参加を通じて意見や助言を提供する。市（官）は、実証フィールドの運営や各種調整、マッチングイベントの開催を担い、取組状況の確認や支援を行う。大学（学）は、技術活用に関する助言や研究開発への協力をを行い、既存産業との連携の可能性について知見を提供する。これらの多様な主体の参画により、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①先端技術を有する企業の拠点設置数（+6件） ②企業マッチングのイベント（意見交換会、講習会、実証実験公開）開催数（+21回） ③研究・開発フィールドの利用事業者数（+15件） ④新商品、サービスの創出数（+8件） ⑤実証実験支援件数（+12件） ⑥共同研究プロジェクト数（+6件）

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【「輝く羽咋」駅周辺にぎわい共創事業】

旧制度（推進）

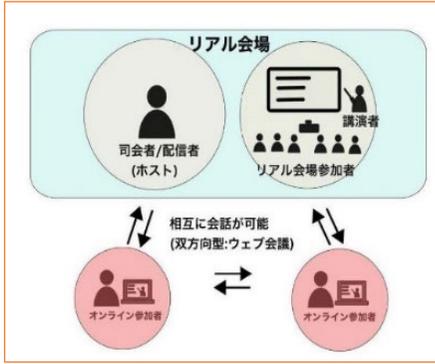
申請者	石川県羽咋市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カック内はR7年度事業費)	209,450千円（48,600千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や職場（学校）とは別の居心地の良い空間で、多様な人々と交流しながら新たな学びや創造力の向上を図る「未来型サードプレイス」の創出 ・誰もが生きがいを持ち、起業・創業や雇用創出に繋がるなど様々なチャレンジをすることが可能な地域社会の構築 ・中心商店街の回遊性・魅力の向上を図り、市民だけでなく市外からの交流人口拡大による地域経済の活性化 			
事業概要・ 主な経費	<p>○市民の多様な個性・才能・創造性を伸ばし、未来型のサードプレイスへと昇華させるための基盤づくりと各事業者や団体と連携した実証事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい交流拠点1周年イベント（委託料）6,000千円 ・eスポーツ推進事業（委託料）7,500千円 <p>○交流拠点のeスポーツスタジオを活用し、新たな視点による雇用の創出と起業・創業への支援体制構築のための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツ活用事業（委託料）5,000千円 <p>○まちなかへの回遊性、観光・交流人口の拡大、地域経済への好循環を図るまちなかへの回遊性、観光・交流人口の拡大、地域経済への好循環を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブカルチャー振興事業（委託料）7,000千円 ・光の煌めき事業（委託料）5,000千円 		 	<p>※経費内訳はR7年度事業費</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①羽咋市にぎわい交流拠点の利用者数（+65,000人） ②新規・変革したイベント数（+13件） ③中心市街地での新規出店数（+3件） ④観光入込客数（+15,000人） 		<p>（（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証）</p> <p>関連URL</p> <p>https://www.city.hakui.lg.jp/material/files/group/6/R6koukakennshouhoukokusho.pdf</p>	

事業概要【“能登半島”観光地域復興事業】

申請者	石川県羽咋市ほか2自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	761,687千円 (174,360千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 台湾からのインバウンドをターゲットとし、観光を起点とする復興につなげる。 広域的に連携し、地域で新たな人の流れを呼び込みながら、連携自治体ごとに手厚く受入れる環境を整える。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インバウンド誘客推進に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドを呼び込む各種プロモーション、ミニツアーの展開等（負担金等）69,779千円 ○国際交流に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催や外国人との交流推進（補助金等）5,400千円 ○総合的な観光推進に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・連携自治体それぞれの観光コンテンツの磨き上げ（委託料等）40,800千円 ○スポーツに関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを軸とした観光地域づくりを推進（補助金等）22,710千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道の駅のと千里浜機能拡充事業 <ul style="list-style-type: none"> ・スペース拡充、機能整備に係る設計（委託料）35,673千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>観光DMOや宿泊施設などと連携し、インバウンド誘致に向けた観光地域づくりを進め、台湾からのミニツアーを複数自治体を周遊する形で展開し、観光商品の魅力向上とインバウンド需要の拡大を促進する。</p> <p>道の駅の指定管理者は、地域商社機能を強化し、能登地域全体の復興にかかる拠点施設として、能登の魅力ある製品の情報発信を行う。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①3市町の観光客数（+70万人） ②本事業を通じた国外からの観光客数（+43,000人） ③海外で出品する特産品メニュー数（+55種） ④3市町のふるさと納税合計額（+22億円）

※石川県羽咋市、七尾市、中能登町の広域連携事業

事業概要【西田幾多郎記念哲学館デジタル技術によるグローバル社会とインバウンド・バリアフリー対応事業】

申請者	石川県かほく市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	13,504千円 (8,431千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 国内で唯一の哲学の博物館における通信環境を整備し、イベント開催を通じて、国際的な研究者との交流の促進やオンライン配信によって国内外に対し哲学の普及を進めることにより、効果的に関係人口の拡大を図る。 西田哲学資料のデジタル化に伴い、展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」等を導入し発信することで、国内外に対し歴史的に貴重な資源に触れる機会を創出し、インバウンド及びバリアフリー対応の強化を図る。 本事業の整備により、哲学館を中心とした関係人口、交流人口の創出を図り、本市の更なる認知度を向上させ、市内における観光消費額の増加を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 西田幾多郎記念哲学館の魅力向上のため、以下の施策を実施する。</p> <p>①WEB会議システムの導入によるハイブリッド型イベントの開催や研究機関との連携強化 哲学ホールにWEB会議システムを導入し、国際シンポジウムや講演会等をオンラインとオフラインのハイブリッド形式で開催できる環境を整備する。</p> <p>②展示音声ガイドアプリの導入 展示音声ガイドアプリの導入することで、インバウンド・バリアフリーに対応し、来館者全体の満足度向上を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○哲学館WEB会議システム導入 4,972千円 ○WEB会議導入によるイベント運営と展示ガイドアプリ導入 <ul style="list-style-type: none"> ・国際哲学シンポジウム運営 1,914千円 ・特別講演会・特別展運営 1,545千円 					<p>◆WEB会議環境整備◆</p>  <p>◆インバウンドとバリアフリー対応◆</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>地元企業や連携博物館と共同で新たな誘客につながるイベント等を開催する。</p> <p>市内小中学校と連携し、事業への児童・生徒の参画を図る。また、県内外の大学と共同で学生参加型授業を実施する。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①市内観光消費額 (+5億7,800万円) ②講演会等の参加者数 (+450人) ③オンラインでの参加視聴者数 (+1,500人) ④利用満足度調査結果 (+10%) ⑤外国人等の入館者数 (+300人)

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【白山手取川ユネスコ世界ジオパーク拠点整備事業】

申請者	石川県白山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	799,988千円 (451,948千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 白山手取川ユネスコ世界ジオパークの魅力と特徴を集約し、観光情報の発信と、ビジターセンターや学習機能などを兼ね備えた新たな拠点施設を整備することで、ジオパークに関する学びや体験、情報発信による普及啓発、ブランド力の強化、交流促進等を進め、観光消費額の増加を図る。 拠点施設を中心として、「新たな白山市へのひと・資金の流れ」の創出、市内に点在する多くの観光資源を巡る周遊観光につなげることを目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休眠施設をリノベーションした白山手取川ユネスコ世界ジオパーク拠点施設の整備 ・大型バスの乗り入れにも対応する駐車場レイアウトの見直し ・国指定天然記念物御仏供スギ周辺を含む周辺環境整備 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点整備等の設計・工事監理、模様替え・増築工事、電気・空調・給排水設備工事 425,650千円 ・既存施設の除却工事、建築物の工事に影響する範囲の外構工事 26,298千円 					 <p>白山手取川ユネスコ世界ジオパーク拠点整備事業 図面 S-1 800 (A3)</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>本拠点を中心に、ジオパークに関する学びや体験を通して地域への理解を深めるとともに、特色ある観光情報の発信により周辺域への周遊性を高め、様々な人々の交流促進を図るため、ツーリズム、教育、情報発信、地域団体など様々な機能を持つ主体と連携を図り、地域振興と賑わい創出を図る。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①市全体の観光入込客数 (+1,147,600人) ②ジオ関連のツアー・教育事業の参加者数 (+3,100人) ③ジオ公認観光ガイド、専門員の出勤数 (+54件) ④HP「うらら白山人」のウェブアクセス数 (+58,100件) ⑤ジオの主な見どころの入込客数 (+178,500人)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【はくさんSDGs共創事業～人と地域の魅力を次世代につなぐ～】

申請者	石川県白山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	20,150千円 (6,350千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに取り組む市内の企業や個人事業主等をSDGsパートナーとして登録する制度を創設し、白山手取川流域のSDGsの推進に向けて企業等が積極的に関与する仕組みを構築する。 SDGsパートナーを中心としたマッチングの場を設け、業種や分野の壁を超えた民間主導のSDGsを推進するための新たなシナジーを生み出すことを目指す。 次世代を担う若者とSDGsパートナーが連携し、地域の魅力を伝えるイベントの開催や白山ろく地域の活性化を目指す取組などを通じて、地域に住まう／働く人が支える地域の恵みを次世代につなぐことを目指す。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 企業との連携を更に進めることにより、SDGsの推進を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○白山市SDGsパートナー登録制度に関する経費 2,900千円 ○SDGsパートナーによる実践的取組に関する経費 2,950千円 ○SDGs推進事業の評価・分析 500千円 						
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> 業種や分野の壁を超えた民間主導のSDGsを推進するため、企業や個人事業主等の課題を把握し、地域の経済活動を支える役割を果たす商工会議所等との連携を促進する。 学術的な観点から検証・評価することも重要なことから、大学と連携し、事業改善を図る。 					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①白山市の転入者数 (+120人) ②SDGsパートナーが実施する実践的取組の活動人数 (+250人) ③白山市SDGsパートナー登録制度に登録する企業数 (+300社) ④登録企業向けセミナーを実施又は参加した企業数 (+150社) ⑤白山手取川流域SDGs認定制度による認定を受けた企業等の件数 (+8件)

事業概要【スマートインクルーシブシティ推進のための拠点施設建設事業】

申請者	石川県能美市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,129,579千円 (775,069千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	世代や属性を超えた市民の交流の場と居場所を提供し相互理解を推進する地域共生社会づくりの拠点を整備することで、誰1人取り残されない、スマートであたたかなまちが実現可能となる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 地域で長く親しまれている温泉を活かし、市民の健康と生活を充実させるとともに、子どもから高齢者まで、障がいの有無や国籍によらない地域の「ごちゃまぜ」の場をつくる。 温泉、食事処に加えて、地域住民のサークル活動、福祉サービス等も備えた拠点施設とする。 また、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備を行い、誰もが利用しやすい、要配慮者にやさしい施設作りを官民共同で行なっていく。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○多世代多属性が交流できる共生型施設を整備 ・施設整備 775,069千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	縁日をイメージした通りや飲食ブースを利用し、観光資源である九谷焼販売、九谷焼の絵付体験、九谷焼破材を利用したガチャガチャなど九谷焼の美術館と一体的に連携を図り地域経済への波及効果を高める。また、多目的スペースを活用し、レクリエーションやニュースポーツを企画・運営し、多世代交流を行っていく。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域の人口・世帯数 (+140世帯) ②地域共生交流館(仮称)利用者数 (+101,360人) ③九谷焼美術館集客数 (+30,000人)

事業概要【横断型サポートによる移住定住促進事業】

申請者	石川県能美市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	20,692千円 (7,268千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野
経費の種類						地方への人の流れ分野

目的・効果
 専門機関や相談機関との連携による横断型の支援を展開し、移住希望者の受入れ体制を充実させることにより、移住定住を促進する。

事業概要・主な経費

※経費内訳はR7年度事業費

【事業概要】
 移住定住促進協議会の運営により、多様な主体と連携した相談体制の構築により、移住希望者一人ひとりの課題や進捗段階に応じて、適切な専門機関とスムーズに接続し、相談者の移住に関する不安や課題の解消により、相談者を移住まで結びつける。
 移住経験者「移住アンバサダー」によるSNSや相談会をはじめとし、能美市や移住に関心のある者へ能美市での暮らしについて説得力のある情報発信を行う。

【ソフト事業経費】
 ○移住希望者をサポートする情報発信及び相談業務
 ・移住定住促進協議会運営事業 2,511千円
 ○能美市移住PR事業
 ・パンフレット、PR記事等製作費 2,613千円
 ・先輩移住者「移住アンバサダー」によるPR活動 2,025千円
 ・移住状況分析（委託費） 110千円
 ・石川県主催の移住相談会参加費 9千円

移住促進策の全体像

移住のステップ	方法	取り組み
能美市に住みたいくなるきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人から勧めってもらう（家族、友人など） 能美市に住まいを持つ利点を意識してもらう 先輩移住者の意見や体験談を聞く 理想の暮らしができるか検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 能美市の広報誌① ・移住支援の掲載 ・ウェブサイト等の紹介 民間情報誌② ・子育て専門誌 住宅メーカー③④ ・移住パンフレット頒布 ・移住支援制度の周知 移住相談機関⑤⑥ ・ILAC ・ふるさと相談支援センター 商工会の広報誌によるPR⑦ ・事業者から社員へ移住支援等を周知してもらう
移住に関する疑問や不安の解消	<ul style="list-style-type: none"> 相談する 知りたい情報を集められる 	<ul style="list-style-type: none"> SNS⑧ ・移住定住促進協議会 ・移住者の暮らし情報 ・移住関連情報 ・移住イベント情報 移住アンバサダー⑨ ・能美市の暮らしの雰囲気を実感できる 移住パンフレット⑩ ・駅や移住相談機関等に設置 ・周知を適して希望者に配布 移住セミナー⑪ ・移住アンバサダー体験談 ・移住のこと ・移住サポート 移住ウェブサイト⑫ ・インタビュー記事 ・能美市の暮らしの情報 ・各相談窓口を案内
能美市への移住定住を後押し	行政サービス・支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 都市圏での移住相談会⑬⑭ ・ウェブサイト問い合わせフォームからオンラインでも相談可能 移住相談窓口⑮ ・問い合わせフォームから相談 ・住まい探し、仕事探し、子育て情報など 出張相談⑯ ・事業所等に出向き、移住相談 専門機関と連携⑰ ・ILAC ・小松ハローワーク ・定住協会ウェブサイト ・行政各担当窓口 など 移住体験支援（移住体験プログラム利用者の市内宿泊費を補助） ・住まいの補助金 ・就職支援（企業紹介・就職ガイダンス） 子育て支援 ・空き家バンク

地域の多様な主体の参画

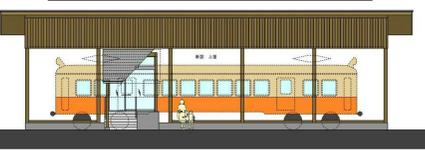
移住定住促進協議会において、市内企業の役員、能美市国際交流協会、移住経験者「能美市移住アンバサダー」等を委員とし、能美市の移住定住促進に係る課題や施策について、各分野からの意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。
 移住経験者「能美市移住アンバサダー」は、移住に関する自らの経験を踏まえ、移住検討者に向けた能美市のPRを行う。
 市内金融機関は、移住定住促進協議会に対し運営の手法について、創業を希望する移住者に対して創業支援のアドバイスを提供する。

KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

①能美市全体の転入者数（+91人）
 ②横断型移住サポートから移住に繋がった件数（+45人）
 ③移住に関する相談件数（+75件）

事業概要【能美根上駅周辺活性化整備事業】

申請者	石川県能美市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	145,000千円 (145,000千円)	
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	まちづくり分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 能美根上駅は、能美市で唯一の鉄道の玄関口であり、鉄道と市内を巡る基幹公共交通であるコミュニティバスの結節点である。 駅舎のさらなる交流機能を高め利用促進を図ることで、能美根上駅の利用者に加えて、鉄道ファンなど、駅そのものを目的地とする観光客を呼び込み、駅前空間での滞留を創出することを目指す。 							
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>現在、無人駅の旧駅務員室を駅利用者が自由に出入りでき（フリースペース）、飲食ができる機能を具備する（カフェ）とともに、スタッフを配備し、乗降・きっぷ購入等の支援、及び、周辺観光に関する情報提供を行い、定期的に交流促進イベント（フリーマーケット、音楽会、キッチンカー×地元食材を活用した食関連イベント等）を開催する。</p> <p>また、別拠点に展示されている能美電客車「モハ3761」を駅前広場に移設し、内部を無人決済店舗（イートインスペース有）として整備する。</p> <p>以上、駅舎における有人サポートの復活と、駅舎及び駅前空間における往来・滞留を創出する。</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○能美根上駅利用促進施設 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 83,000千円 ○能美根上駅前空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・既存車両移設費・塗装・内装等整備費 23,000千円 ・基礎、上屋、外構設計・建築工事 39,000千円 					<p>能美根上駅</p>  <p>移設車両 (イメージ)</p> 		<p>駅利用促進施設 (レイアウトイメージ)</p>  <p>移設車両 (内部イメージ)</p> 
地域の多様な 主体の参画	<p>当該施設の指定管理者に市の観光案内をはじめイベント開催など積極的に行ってもらうとともに、地元住民からの意見なども取り入れ反映していく。</p> <p>また、各種団体等との連携強化にも取り組み鉄道利用促進や駅周辺の活性化を図る。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①能美市への転入者数 (+91人) ②能美根上駅一日平均乗車人員(+453人) 	
※経費内訳はR7年度事業費						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		

事業概要【小中高大連携による持続可能なインパクトシティののいち創生事業】

旧制度（推進）

申請者	石川県野々市市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	16,400千円（7,800千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 目指すべき人口とバランスの取れた人口構造の保持を図る • 新たな産業の創出を目指す • 市民の環境意識の更なる醸成及び行動の促進を目指す 		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>○環境意識の向上やサステナブルスキル・知識を学び、SDGs推進及びまちづくりへの参画促進に向けた各種ワークショップの開催 (委託料) 2,700千円</p> <p>○知識・スキル・経験等をデジタル証明として可視化し、モチベーションの維持や向上につなげる「オープンバッジ制度」の管理運営 (委託料) 2,200千円</p> <p>○市民団体等を対象とした、市民協働によるSDGs推進や地域課題解決を目的とした事業に対する助成 (補助金) 1,000千円</p>		<p>オープンバッジ制度</p> <p>ワークショップの参加回数などを達成すると、 学んだ知識やスキルを証明するデジタルのバッジがもらえます</p> <p>たくさん参加すればするほど バッジのランクがアップ!</p> <p>BRONZE</p> <p>SILVER</p> <p>GOLD !!!</p>
KPI	<p>①市内大学卒業生の県内就職率（+3%）</p> <p>②提案型SDGs協働事業の実施数（+10事業）</p> <p>③地域の拠点を活用したリスキリングワークショップの参加者数（+160人）</p> <p>④市民・企業向け環境ワークショップの参加者数（+300人）</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://nonoichi-sdgs.com (効果検証) https://www.city.nonoichi.lg.jp/shiki/4/60117.html</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【中能登町版CoIU共創まちづくり推進事業】

申請者	石川県中能登町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	39,334千円 (7,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>共創まちづくり推進に向けて町の将来像である、「里山里海・芸術・観光・伝統産業」を軸とした共創学の学びの拠点として、若者世代を中心とした人の流れをつくり、能登全体の人口減少対策として、公共施設の有効活用を含めた、安心安全で快適なまちづくりプロジェクトを実現させることで、町の総合戦略人口ビジョンの定量目標である年間100世帯の定住確保の目標達成のため、田園回帰、移住定住、結婚などのライフスタイルごとにアプローチをかけて人口減少対策につなげていきたい。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○行政と住民、企業が三位一体となって連携する共創コミッションを設立し、プロジェクトに参画いただける多様な人材や企業を全国から集う「なかのと共創リアル会議」を開き、現地にモニターとして訪問いただき、廃校を活用したまちづくりや共創拠点を考える「共創拠点ワークショップイベント」を開く。また、女性人材や専門人材と連携して、SNS活用や動画チャンネルなどを開設しながら情報プロモーションを図る。</p> <p>○中能登町版共創コミッション推進事業 1,000千円 ○共創プロジェクト事業 3,000千円 ○共創プロジェクト情報発信プロモーション事業 3,000千円</p>		   
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①移住者 (+440人) ②共創プロジェクト参加者 (+21,977人) ③女性デジタル人材 (+36人) ④シビック幸福度 (+100%)</p>		<p>関連URL</p> <p>((交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) https://www.town.nakanoto.ishikawa.jp/soshiki/kikaku/3/5/1/1/8420.html</p>

事業概要【サテライトオフィス誘致及びテレワーカー誘致を核とした地方創生事業】

申請者	石川県穴水町				初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	72,737千円 (36,950千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 空き店舗や空き家を有効利用したサテライトオフィスの誘致により町内に新しい形の雇用の場をつくることで、新たな仕事の提供を図るとともに地域の稼ぐ力を上げていく。 • 空き店舗を活用したチャレンジショップで飲食店等開業サポートを担うことで、移住者や若者層等が働ける場所を提供することで地域力の向上を図り、新たな人の流れをつくり、賑わいの創出に繋げる。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 令和6年能登半島地震により、空き家・空き店舗の活用が難しくなったことを踏まえ、チャレンジショップの拠点施設であるコンテナハウスを整備し、チャレンジショップ利用者の公募を進めるとともに、サテライトオフィスの誘致を実施。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィス誘致に係る委託料 12,100千円 (マッチングイベント出展、イベントフォロー、誘致支援ミーティング、地元企業と進出企業とのマッチングイベント、個別企業紹介、連携事業) ・チャレンジショップ運営等支援委託料 5,500千円 (拠点施設マネージャー育成、運営コーディネート・サポートほか) ・コンテナハウス清掃用具整備90千円、チャレンジショップ広告費1,500千円、フードトラック等借上げ料4,560千円 ・飲食店デジタルマップ更新委託料 500千円 <p>【ハード分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナハウス整備費 8,850千円 ・コンテナハウス内装備品整備費 3,850千円 				 <p>↑企業マッチングイベント (商談)の様子</p> <p>→ チャレンジショップ公募</p>	
※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	<p>地元事業者が抱える課題等を、マッチングイベント時における町の紹介時において、メリットやデメリットを公表することで、よりマッチングの精度を高くする。</p> <p>また、チャレンジショップ事業については、移住者にも呼びかけを行うため、移住定住促進協議会との連携を図り、より広く周知する。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①町外からの移住者数 (+6人) ②サテライトオフィス誘致数 (+4社) ③チャレンジショップを活用した開業の件数 (+2件)
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【スマート牡蠣養殖を用いた穴水町水産復興事業】

申請者	石川県穴水町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	40,252千円 (14,056千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<p>・既存の牡蠣養殖と並行し、IoT技術を活用した新たな養殖方法を取り入れることで、昨今の環境変化に対応した高歩留且つ高収入な産業を形成し、水産業から本町の復興実現を目指す。</p> <p>・現在季節産業である牡蠣養殖において、年間通じた収入の安定化や省力化（年間での分散化）を実現し、稼げる水産業として従事者の増加や新規参入者による担い手不足の解消を目指す。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 穴水町の名産品である牡蠣が現在、昨今の環境変化に対応できず、生育不良に悩まされている。 そのような本町内海域において、既存の筏垂下式牡蠣養殖手法と併せて、新たに「IT技術を活用し、作業データ及び環境データセンシング、シングルシード方式を用いたスマート牡蠣養殖」を導入する。</p> <p>【ソフト事業経費】 スマート牡蠣養殖の手法（データセンシングなどを活用した牡蠣養殖）を取り入れるための業務委託を行い、漁場整備や漁業者へのIT操作の導入、養殖実務支援等を実施する。 ・業務委託費 14,056千円</p>				<p>漁獲資源の枯渇 漁獲高の減少による安定しない収益 高歩留を実現する人工種苗＆管理型養殖 海洋環境と生育生存データを蓄積＆解析 養殖改善のPDCAを実施</p> <p>高齢化と後継者の不足 産業衰退により従来型の漁業が難航 助や経験を見える化し次世代へ継す 小規模＆兼業としても実施できる産業</p> <p>激しい潮の満干き 限られる漁業種別や業務時間 海域の特徴に合わせて漁場の整備 知見を活かした効率的な設備設計</p> <p>各海域の海域特性に合わせた養殖を目指す</p> <p>後継者及び新規従事者の創出を目指す</p> <p>産業化を想定した設備整備と実装計画を目指す</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>大学と共同で生育・海洋環境・作業データの収集や分析を行うことで産官学の連携を強固にしつつ、より効率的且つ高歩留な牡蠣養殖事業への発展を目指す。また、金融機関からの現場視察や意見交換などの実施も視野に入れることで、経営視点でのアドバイスなどを有効に活かし、事業拡大を目指す。</p>				KPI	<p>①新規漁業就労者 (+4人)</p> <p>②石川県漁業穴水支所内でのスマート牡蠣養殖導入者数 (+6人)</p> <p>③牡蠣養殖における歩留率 (+25%)</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値